

## 総合の時間にSDGsの勉強

をして、世界には、お金持ちと貧困の人で格差があることを知った。また、国に対する不満があり、移民がたくさんいることも知った。なぜお金の格差があるのか、また、移民がなぜたくさんいるのだろうか。

「ほんの一部のお金持ちに集中する世界の富」という資料から、世界の人口は約七十八億人、中でも、ほとんどお金持ちの二千人は、分負しい人たち、四十億人よりたくさんのお金を持っているそうだった。ただ、二千人のお金持ちが、世界の人口の約半分以上の富を持っていることになるそうだった。二千人のお金を分けて、世界の人のそれぞれのお金を平等にすれば、お金持ちに富が集中することもなく、分負富の格差が縮まることになった。また、「国を起えて考える移民の問題」という資料から、五歳未満の約25人に一人が移民というデータがあることがわかる。さらに、自分が住む国に不満をかかえる人がたくさんいることもわかる。だから、不満をかかえる人に、農作物の作り方を教えたり、働けるようにしてあげれば、移民がへると思えた。

確かに、お金を持っている人からしたら、貧困の人なんてどうでもいいと思っっているかもしれない。また、移民が増えていくことなんて関係ないと思っう人がいるかもしれない。しかし、貧困の人はお金がなくて困っているし、移民も住んでいる場所に不満をかかえている。だから、ぼくは、貧困で困る人や移民と協力していきたい。  
↑出典↓「Ed. Town SDGs 世界の国や地域が協力して持続可能な開発を目指すSDGs」

東京書籍